

## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b>	一般国道371号 <small>ぬるみかわ</small> 温川バイパス	<b>事業区分</b>	一般国道
<b>起終点</b>	自：和歌山県田辺市中辺路町温川 至：和歌山県田辺市中辺路町川合	<b>事業主体</b>	和歌山県
<b>事業概要</b>	国道371号は大阪府河内長野市を起点として和歌山県東牟婁郡串本町に至る、延長約238kmの幹線道路である。温川バイパスは、国道371号の幅員狭小及び線形不良区間、並びに異常気象時通行規制区間を解消し、地域住民の生活基盤を充実させるとともに、災害時等の孤立集落の解消にも寄与するものである。		
H3年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	H4年度用地着手	H5年度工事着手
<b>全体事業費</b>	約 47億円	<b>事業進捗率</b>	72%
<b>計画交通量</b>	800 台/日	<b>供用済延長</b>	1.9km
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.3	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 10 / 55 億円 (事業費：9 / 52億円 維持管理費：1 / 3億円)	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 13 / 61 億円 (走行時間短縮便益：13/58億円 走行費用減少便益：0/3億円 交通事故減少便益：0/0億円)
<b>事業の効果等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違い困難区間を解消する）</li> <li>災害への備えとして、防災点検要対策箇所を解消する） など3項目に該当</li> </ul>		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>	国道371号改良促進協議会より、国道371号温川バイパスの整備促進・早期完成の要望を受けている。(平成16年11月、平成18年1月)		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>	平成16年度から龍神四バイパス事業を休止している。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>	用地買収は順調に進んでおり、平成16年度末までには温川地域で延長1.9kmを部分供用しており、平成17年度末には0.8kmを部分供用する予定である。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>	用地買収、本工事とも順調に行われており特に問題はない。今後は、早期供用に向け用地買収、本工事（仮称2号トンネル）の促進を図る。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b>	仮称1号トンネルの施工にあたり、近隣地での土捨場を確保する等、計画手法の見直しにより、インシヤルコスト縮減を図るとともに、仮称1号トンネル照明設備では感应式センサー、蛍光灯を採用することで、ライフサイクルコストの縮減を講じており、今後も新技術の導入等対策を講じていく。		
<b>対応方針</b>	そのまま継続		
<b>対応方針決定の理由</b>	事業は順調に進んでおり、当初から事業の必要性、重要性、効果もあると考えられる。		
<b>事業概要図</b>			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。